

ガーデンシティふかや推進室[ふかや緑の王国・深谷市榎引24-2(花植木流通センター隣)] ☎551-5551

花を愛し、人を愛し、地域を愛するまちづくり!!

第14回

感染防止にご協力ください
・発熱、体調不良のかたは来場しない
・マスクの着用
・ソーシャルディスタンス
・手洗い、消毒

森の音楽祭 & 秋まつり

入場無料

10.15

午前10時～午後3時

雨天中止

緑の王国 inふかや緑の王国

ハーモニカ、オカリナ、ギター、しの笛、尺八、アコーディオン、フォルクローレ、吹奏楽など、さまざまな生音演奏が目の前で楽しめます。

※出演プログラムは、9月下旬にホームページに掲載します。



秋まつりの内容

王国オリジナル販売、軽食販売、花苗販売、木工工芸品販売、山野草展、消防車展示、白バイ展示、こま回し教室、万華鏡づくり、王国探検ゲームなどを予定しています。

※一般のかたは施設内の駐車場を利用できませんので臨時駐車場をご利用ください(障害者用駐車場は施設内正門側にあります)。臨時駐車場:花植木流通センター(隣接)、JAふかや榎挽プラザ(徒歩約12分)

関連イベント

10/29 土
午前10時～午後3時

第11回 Music Festival of Flowers
花の音楽祭 & 秋野菜まつり
in深谷グリーンパーク

楽器弾き語りから電子楽器を使った演奏まで、さまざまな音楽が楽しめるほか、キッズダンス、キッチンカー、野菜の販売などを予定しています。 ※雨天中止
ところ 深谷グリーンパーク (574-5000)

秋のハンギングバスケット教室参加者募集!

春まで楽しめるハンギングバスケットを作ませんか。

とき 11月9日(水) 午前10時～正午
ところ ふかや緑の王国
定員 先着12人(1回の申し込みで2人まで) 参加料 3,500円(材料費を含む)
講師 日本ハンギングバスケット協会埼玉支部
申し込み 10月12日(水)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ



作品イメージ▶

わくわくどきどき『収穫体験!』参加者募集!

とき 11月19日(土) ①午前9時～、②午前10時30分～(雨天決行)
ところ ふかや緑の王国
内容 サトイモ、ダイコンの収穫
定員 各回先着15組(2人1組で、1回の申し込みで2組まで)

※小学生以下のかたが参加する場合は保護者同伴

参加料 1組1,000円
申し込み 10月19日(土)午前8時30分から電話でふかや緑の王国へ



▲昨年の収穫体験の様子

『道路ふれあい月間』道路愛護活動の感謝状受賞

市民ガーデニングボランティアは、大宮国道事務所が管理する国道17号(市役所東側)において、多年にわたり道路美化活動に貢献してきました。その功績が認められ、『道路ふれあい月間』において、国土交通省関東地方整備局長表彰の感謝状を頂きました。



▲市民ガーデニングボランティアのみなさん

※新型コロナウイルス感染拡大状況によっては、中止になる場合があります。 ※体験および教室では各自でマスクを準備し感染予防対策をしてください。

『ガーデンシティふかや』『ふかや緑の王国』ホームページのほか、ツイッター(@garden5551)、『ふかや緑の王国』フェイスブックもご覧ください。



ボランティア団体を紹介します

ガイドヘルプ 『あいハート』

ガイドヘルプってなに?

『ガイドヘルプ』とは、目の不自由なかたが外出するとき(市役所、病院、買い物、旅行など)、安全に行けるように手助けすることです。

深谷市には目の不自由なかたが約400人います。市では、障害者総合支援法に基づき、目の不自由なかたの移動支援事業を一定の要件のもとで実施しています。

私たち『あいハート』は、制度との共存を目指して、目の不自由なかたの『生活の質』の向上のために活動を進めています。皆さんもガイドヘルプの活動に参加してみませんか。

また、皆さんの周りて、目が不自由で外出をためらっているかたがいたら、『あいハート』を紹介してください。

活動内容

- ①視覚障害者のガイドヘルプサービス
(名勝楽山園散策、りんご狩り、いちご狩り、みかん狩りなど)
※コロナ禍のため、現在は集団での外出は行っていません。
深谷市視覚障害者福祉協会の行事などの支援
- ②市内小中学校、体験学習への協力
- ③行政機関などが主催する行事への参加、共同募金への協力

☎障害福祉課 (☎ 571 - 1011、☎ 574 - 6667)、社会福祉協議会 (☎ 573 - 6563、FAX 573 - 0806)



▲外出援助の様子

畠山重忠を知る

重忠の最期②

元久2年(1205年)6月19日、畠山重忠は、わずか134騎の軍勢で、嵐山の菅谷館を出て、鎌倉に向かいます。しかし、その途中で息子の重保が討たれたことと、自分が謀反人にされていることを知ります。榛沢成清、本田近常らは一度退いて軍を立て直すよう進言しましたが、重忠は陰謀にはめられたことを知りつつも、名譽を重んじ、そのまま死地へ自ら向かいました。

7月には牧の方が將軍実朝を殺して女婿の平賀朝雅を將軍に立てようとしている噂が流れ、時政と牧の方は失脚、追放されます。人望のあった重忠の死をきっかけに、義時は幕府の中心に躍り出たことから、初めから重忠誅殺の陰謀に関わっていたとする説もありますが、それぞれの事情がからみあい複雑な状況の中で、やむを得ず重忠を討ち取り、その状況を自らの権力強化に利用したとみることができるといえます。



武蔵武士の鑑

畠山重忠